

平成26年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、中央図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：白根図書館

シートNo.1

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・レファレンスサービスの充実	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ確かな情報提供を行う。	レファレンス件数は目標値に届かなかった。 26実績： 286件 26目標値： 350件 25実績： 323件 24実績： 430件	掲示・カウンター整理も試みたが、利用者自身が端末で気軽に蔵書を調べることができるようになり、レファレンスが減少した。職員がより詳しい情報を提供できることを、さらにPRする必要がある。	1 大変評価する。 11% 2 ある程度評価する。 89% 3 評価できない。 0%	・調査、相談を重視する姿勢の周知を。 ・普段から雰囲気づくりも大切と思う。 ・PRが行き届けば様々な生活課題解決手段として認知される。 ・声掛けにくい(笑顔・態度)との声がある。 ・ネットで調べるなど必要ない人も多い。
	◆館の重点評価項目 ・展示架等積極的展開	・公民館事業に関連した資料の展示を行い、広く市民に図書館利用をPRする。 ・利用者ニーズや時節にあった資料展示で情報提供を行う。	テーマ展示： (白根)26実績 46回 ※うち2回は、公民館事業に関連した展示。 (月潟)26実績 41回	白根ではビジネスコーナーやテーマ展示コーナーなど、展示架の注目度は高いと考える。今後も効果的に展示を行い、利用拡大に繋げていきたい。 月潟では定期展示の他、ミニ展示も設け身近な情報提供、話題性を心がけた。	1 大変評価する。56% 2 ある程度評価する。 44% 3 評価できない。 0%	・入り口付近の展示架は目を引く。 ・行くたびに展示内容が変わっていて努力を感じる。 ・テーマ展示に関して、利用者意見も聞いてほしい。 ・興味、関心がわく効果的工夫を。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。 ・特に風・農業関連についての資料収集に努める。	南区の図書館として、風、農業関係資料の収集は勿論、関係行政資料についても情報を広く求め、収集している。 26実績： 6,996冊 26蔵書目標：7,000冊 25実績： 6,812冊	白根では幅広いレファレンスにも対応できるよう、積極的に収集を行っている。 月潟では活用価値保存価値の高いものを優先して蔵書に努めた。	1 大変評価する。 56% 2 ある程度評価する。 44% 3 評価できない。 0%	・農業生活の楽しさを伝える展示も見たい。 ・風や農業関係資料をもっと収集したほうがいい。 ・適当な時期或いはコーナーで紹介すると郷土愛につながると思う。
	◆館の重点評価項目 ・農業等産業関連図書の充実	南区の主産業である農業図書の収集を進めるとともに、他の地場産業関連図書にも拡大したい。	同上	農業関係者を支援できるよう、農業図書の収集を行っている。26年度からオンラインデータベースの提供も行っているが、もっとPRが必要であると考えている。	1 大変評価する。 11% 2 ある程度評価する。 89% 3 評価できない。 0%	・農業者へのPR以外に農協に働きかけること、季節に合わせた展示も必要でないか。 ・他の地場産業関連にも広げてほしい。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタートの実施	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」の実施。	月一回の1歳誕生歯科健診時に実施。 26参加実績： 317名、12回 26参加目標： 338名、12回 25参加実績： 331名、12回	ボランティアや関係課の協力もあり、スムーズに運営できた。ブックスタート4年目が終了。順調に進み、ブックスタートという言葉も浸透してきている。	1 大変評価する。100% 2 ある程度評価する。 0% 3 評価できない。 0%	・絵本の大切さを若いお母さんに伝えてほしい。 ・絵本に関心を持つ保護者が増えていると感じる。 ・ようやく成果が出てくると思うので継続を。
	◆館の重点評価項目 ・ボランティア講座の実施	ボランティア育成のため、前年と同様に講座を実施した。	・読み聞かせボランティア養成講座参加人数： 4名 ・交流会及びステップアップ講座参加人数： 16名	白根では養成講座・ステップアップ講座ともに参加者を増やすことができなかった。今後の検討が必要である。 月潟では読み聞かせ講習会の参加者が得られなかったため、再検討が必要。	1 大変評価する。 0% 2 ある程度評価する。 89% 3 評価できない。 11%	・「読み聞かせ」以外の楽しくなる言葉がいい。 ・ボランティアに興味があっても自発的に参加できない人もおり、声掛けを望む。 ・「読み聞かせ」の大切さが理解されていないことと土地柄、読み聞かせが難しいと考える人が多いと思う。 ・ボランティアからアイデアを聞いたらどうか。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するためボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	白根図書館の応援団である「しろね図書館友の会」を中心に共催事業を実施した。 読書会 毎月第3日曜日 講演会(12月) 図書館まつり(11月)→連携事業	例年同様、友の会に共催を依頼し、図書館事業の充実を図った。読書会は参加者が増えている。	1 大変評価する。 56% 2 ある程度評価する。 33% 3 評価できない。 11%	・忙しい中、様々な企画に感謝する。 ・読書会参加者が増えており、評価する。 ・図書館にしかできないイベントがまだあると考える。 ・公共施設より人が集まる場所にパンフを置いたらどうか。
	◆館の重点評価項目 ・職場体験・ふれジョブ等受入	学校からの見学・職場体験、ふれジョブ等、積極的に受入れた。	図書館見学、職場体験等を積極的に受け入れた。 (白根)見学：5件149名体験：5件13名 (月潟)見学：2件21名 体験：3件7名 ふれジョブ・ジョブトレ：2名(11回)	白根では26年度に、初めてジョブトレ研修生を受入れた。受入体制は十分ではないが、今後も学校や民間団体と連携を図りながら、できる限り要請に応えたい。 月潟では積極的受入体制をとっているが、要請は現状程度。	1 大変評価する。 33% 2 ある程度評価する。 67% 3 評価できない。 0%	・職場体験から図書館の良さが感じられると思うので大いにやって。 ・就職するには狭き門と思うが、積極的に受け入れてほしい。 ・図書館が親近感を持てる楽しい場所と認知できる素地づくりを。